

倉敷市山陽ハイツ跡地整備基本構想（案）のパブリックコメント集約結果

No.	御意見の要旨	倉敷市の考え方
1	<p>自然や市民のふれあいと防災機能をもった施設は前提として、倉敷市第七次総合計画のめざす将来像である「豊かな自然と紡がれた歴史・文化を次代へ繋ぎ 人と人との絆と慈しみの心で地域を結ぶまち倉敷」の実現をめざして、倉敷市独自の文化・産業・日本遺産などを発信する中心点としての場所を目指して欲しい。</p> <p>取り入れて欲しいテーマは「歴史」「文化」「未来創生」「紡ぐ」「協働」「サステイナブルパークCo-production」。</p> <p>具体例としては、ジーンズやワイナリー等のミニ工房、水島、児島、玉島、船穂、真備地区の特産の紹介と各地に足を運んでみたいと思わせるようなブースの設置。倉敷市に関するコンテンツを誰もが発信できるようなスタジオを整備。市長と企業の対談発信の場。企業やユーザー、市民にらしきの魅力発信に活用してもらおう（群馬県庁舎3階官民共創スペース「NETSUGEN」を参考に）。</p>	<p>山陽ハイツ跡地に整備する複合施設は、倉敷市山陽ハイツの貸会議室機能と倉敷市文化交流会館の文化練習室機能との複合化となりますが、その他の機能を付加することも検討します。</p> <p>地元特産品のブースや、共有スペースの設置については、機能の一例として参考とさせていただきます。</p>

2	<p>整備地については、美観地区からの距離も近くアクセスも容易なため、美観地区に次ぐ観光スポットとしての施設にもなって欲しい。</p> <p>具体例としては、工房やワイナリー、フルーツを売りにしたパーラーなど官民連携施設や日本の原風景をモチーフにしたデザインと防災機能の両立を目指した施設、滋賀県に2014年に作られて、2020年には県内一の観光客数を集めるまでになった「ラ コリーナ近江八幡」をお手本にした施設にして欲しいです。「ラ コリーナ」は日本の原風景をモチーフにした施設で、園内には菓子店・カフェ・農場・ガレージなどがあり、自然体験の事業も行われています。また、展望がいため、児島地区に次ぐサンセットフェスタの開催。</p>	<p>ホームページで「ラ コリーナ近江八幡」を拝見いたしました。山陽ハイツ跡地整備においても、マルシェや自然体験など、様々なソフト事業を展開できるような広場等の整備を検討してまいりたいと考えています。</p>
3	<p>SDG s (※) が学べる施設として、国内外に発信できる施設づくりを目指してほしい。</p> <p>具体例としては、SDG s の17の目標ごとに倉敷市で取り組まれている事例や倉敷市役所の取り組みを紹介したブースの設置、企業PRの場に、市民や企業で更新してもらい、里山を市民で管理、育てていく施設、農業体験ができる施設、給食センターについては、見学や食育の場になる施設、農場体験で作ったものを調理できる施設、防災備蓄倉庫で</p>	<p>ご提案のとおり、例えば、ゼロカーボンシティの実現に向け、ZEBや再生可能エネルギー、省エネ設備等の導入などSDG s の達成に資する施設整備を目指したいと考えています。</p> <p>ご提案をいただいた防災講座などの取組については、新施設の貸会議室やイベントゾーン等を活用したソフト事業として取り入れていくことも考えられます。</p>

3	<p>は、倉敷市の災害リスク（具体的、直感的な）や防災について学べる施設。</p>	
4	<p>基本構想（案）「5 導入する施設・機能の活用例」について、「市道がそれぞれのゾーンを結ぶことで、施設全体に一体感のある利用しやすい空間をつくる」とありますが、よくある構造に思えます。①レクリエーション、②イベントゾーン、③遊び・多目的広場ゾーン・交流ゾーン、④自然ゾーンなどが相互に行き来できるようになるのであれば、そちらをアピールした方がいいのではないのでしょうか。計画図の鎖のような構造ではなく、蜘蛛の巣状の構造ができるのであれば、より一体感や利便性を感じられると思います。</p>	<p>高低差があり斜面も多い地形ですが、公園施設を一体的に活用いただけるよう、可能な限り遊歩道等を整備したいと考えています。</p>
5	<p>山陽ハイツの貸会議室機能と文化交流会館の文化練習室機能の複合化では、練習室からの音漏れ等への防音防振対策が必要となりますが、大音量と振動がする楽器もあるため、堅牢な建物或いは防音等対策にコストをかけたとしても、その効果は限定的であり、他の活動を妨げることとなります。</p> <p>そのため、各練習室と会議室は、それぞれ棟を分け、一定の距離を空けて配置すべきと考えます。また、トイレは共有できる配置とし、シャ</p>	<p>山陽ハイツ跡地に整備する複合施設の文化練習室は、防音・防振対策のほか、音楽練習室と会議室の配置などを工夫し、できるだけ近隣や諸室に音や振動の影響が少ない設計となるよう、整備事業者へ発注する際に求めていきたいと考えています。</p>

5	<p>ワールームは現在の使用状況からも不要とすれば、集約化するだけでもコストメリットはあると考えます。よって、複合化ありきとせず、集約化も選択肢に含めて検討すべきと考えます。</p>	
6	<p>複合化により、大練習室の面積が縮減されると、大人数の団体の活動は制限されます。利用頻度が高く、民間等にも代替施設がない大練習室については、文化振興の観点も踏まえ、縮減とならないよう全体の中で調整すべきと考えます。</p>	<p>施設の仕様については、現在の文化交流会館の練習環境をできるだけ維持できるように考えてまいります。</p>
7	<p>音楽練習室で質の高い音楽を創造するには音響がとても重要となります。そこで、設計にあたっては、利用を希望する文化団体をはじめ、音響専門家の意見も取り入れ、適切な空間設計が検討される体制づくりが必須であると考えます。</p>	<p>山陽ハイツ跡地に整備する複合施設は、文化交流会館の文化練習室を利用する団体の皆様へ行ったアンケートも参考にさせていただきます。</p>
8	<p>施設を市民に提供する場でなく、ソフトが提供できる施設として、自然とのふれあい方や学びを提供できるイベントの開催やコミュニティの設置が必要と考えます。</p> <p>具体的には、ネイチャーゲーム・キャンプ教室・野鳥観察・野草教室・ニュースポーツ体験・写真教室・俳句の会・絵画教室・ドッグランを併設し犬の飼い方教室・自然体験教室等を主催又はコーディネート出来る管理運営者が必要と考えます。</p>	<p>山陽ハイツ跡地の自然や地形を活かし、様々なアイデアや創意工夫を発揮したソフト事業を展開できる民間事業者を選定し施設の管理運営を行いたいと考えています。</p>

9	<p>利用者の要望や、時代に合わせ、改善出来る様、自由度のある運営体制が必要と考えます。</p>	<p>民間事業者による管理運営（指定管理者制度など）を検討しています。</p>
10	<p>（施設の外觀・デザインについて）定期的にコンペを行い、建築家や、アーティストの発表の場として場所を提供して、施設の外觀を変化させ、飽きの来ない施設としてくのは如何でしょうか。</p>	<p>市民に飽きられることのない施設となることは大切な観点であると認識しており、参考とさせていただきます。</p>
11	<p>山陽ハイツ跡地の施設について、下記の設置を希望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 音響の良い音楽練習室（会議室主体ではないもの） 2) 客席300名ほどの使い勝手・音響の良い小ホール <p>市民モニターアンケートにて「音楽、演劇など趣味を楽しむため」に多くの票が集まっています。また、他の上位の回答（運動、遊び、食事など）は他の場所でも行える選択肢が多いものですが、音楽・演劇などに関しては専用の場所が必要となり、選択肢が非常に限定されます。</p> <p>倉敷市文化交流会館の音楽練習室は、部屋の広さ・音響・ピアノの設置などで優れた施設であり、音楽を楽しむ者として大変に重宝していました。山陽ハイツ跡地の新施設でも同様以上の音楽練習室（会議室では音響が得られない）を設計していただきたいと強く要望します。</p> <p>また、練習の成果を発表・披露し、他の市民にも音楽・芸術鑑賞を行う機会を増やすためにも、小規模で気軽に使用できるホールを作成して</p>	<p>山陽ハイツ跡地に整備する複合施設の文化練習室は、音響、防音・防振、面積などを考慮しながら利用される方の利便性の向上を図るとともに、安全に配慮し照明等も整備する予定です。また、Web予約など運営面でのご提案についても検討していきます。</p> <p>なお、ご提案の定員300名ほどの小規模のホールの整備については今回の整備計画には含まれておりませんので、市民会館や芸文館などの文化施設や基幹公民館のホールのご利用をご検討ください。</p>

11	<p>いただければ、使用頻度が増え、観客による会場の認知向上に繋がるか と思います。</p> <p>◆練習室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな音漏れがしないこと(他の施設の利用者に迷惑を掛けないこと) ・折り畳み椅子があること <p>※倉敷市内の新しい施設にある椅子は硬く、大きく、座面に角度があり腰痛持ちには辛い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用予約がし易いこと (WEB・電話での予約・空き確認が可能、定期使用が可能) ・音楽練習室が複数あればありがたい (パート練習など使い勝手が非常に良くなる) ・小ホールの舞台と同じ大きさの練習室があること (舞台リハやオペラ稽古などが可能) <p>◆小ホールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドピアノがあること ・舞台袖が広く、楽屋も設置して客演を呼ぶなどの企画がし易いこと ・客席は座り心地が良いものを <p>◆山陽ハイツの立地について</p>	
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

11	<p>・駐車場までの道路に適度に街灯があること</p> <p>倉敷市文化交流会館が無くなることは利用者としては残念ではありますが、市内中心部ではない場所に施設ができることは、交通渋滞に巻き込まれることがないため車所有者にはありがたく思います。</p> <p>素晴らしい施設が開館することを期待しています。</p>	
12	<p>老若男女が生涯にわたって天候や季節を気にすることなくコンスタントに健康増進が図れるスポーツであるスカッシュは、オリンピックの新競技種目の最終候補にもなったこれからの花形となりうるニュースポーツであり、アジア競技大会の正式競技種目でもあります。</p> <p>スカッシュコートを整備し、スカッシュスクールを開催すれば、益々愛好者は増大し、コート利用料ばかりでなく、スクールの受講料収益も見込む事が可能だと考えます。また、大会を誘致できれば会場利用料としての収益も見込む事が出来ます。</p> <p>については、スポーツ・レクリエーション施設として数面のスカッシュコートの建設を要望します。</p>	<p>山陽ハイツ跡地整備では、様々な年代の方が気軽に取り組めるような運動・健康増進に寄与する機能を導入したいと考えています。</p>

※ SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。世界にある課題をみんなで解決し、将来にわたって続くよりよい世界をめざすため、平成27 (2015) 年の国連サミットで採択された令和12 (2030) 年を年限とする国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓い、「貧困をなくそう」など17の目標 (ゴール) と、「令和12 (2030) 年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にあるすべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる」など169の達成基準 (ターゲット) から構成されています。